



Roche ロシュ グループ

2008年12月期 連結決算概要

中外製薬株式会社
取締役専務執行役員 兼 CFO
児玉 龍三

2009.2.4/5

将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注：本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示

%は億円単位で表示された数字で計算

損益の概要 1-12月実績

【億円】	2007年 1-12月		2008年 1-12月		増減	
		売上 (%)		売上 (%)		(%)
売上高	3,448		3,269		▲179	▲5.2
製商品売上高	3,329		3,218		▲111	▲3.3
タミフル除く	2,943		3,134		+191	+6.5
タミフル	387		84		▲303	▲78.3
特許権等収入	119		51		▲68	▲57.1
営業利益	667	19.3	516	15.8	▲151	▲22.6
営業外収益	43		99		+56	+130.2
営業外費用	33		42		+9	+27.3
経常利益	677	19.6	573	17.5	▲104	▲15.4
特別利益	3		73		+70	+2333.3
特別損失	16		14		▲2	▲12.5
当期純利益	401	11.6	393	12.0	▲8	▲2.0

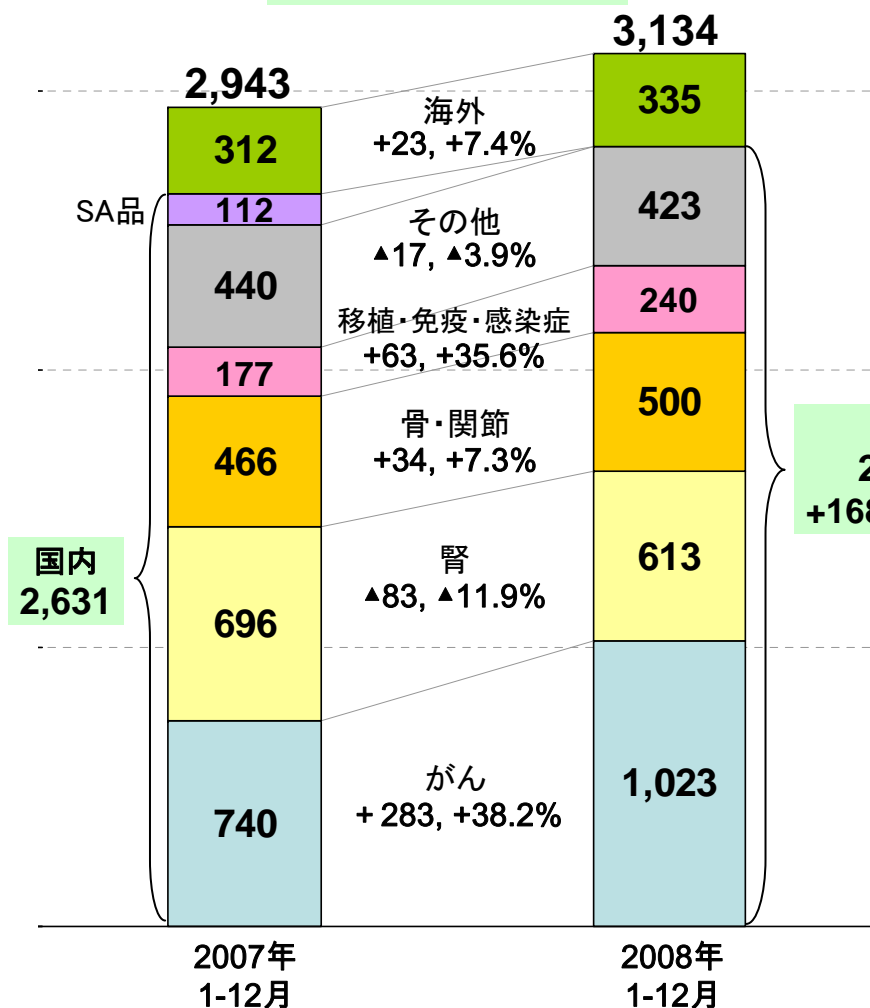
- タミフル除く製商品売上高
P.4参照 +191億円
- 特許権等収入 ▲68億円
マイルストーン収入の減少
- 営業利益 ▲151億円
P.5参照
- 営業外収支 +47億円
為替差益
- 特別損益 +71億円
アクテムラ共同開発精算金

期中平均レート (前年) 117.80円 / USD、235.66円 / GBP、98.13円 / CHF、161.17円 / EUR
 (当年) 103.44円 / USD、189.85円 / GBP、95.54円 / CHF、151.38円 / EUR

製商品売上高の増減内訳 (タミフル除く) 1-12月実績

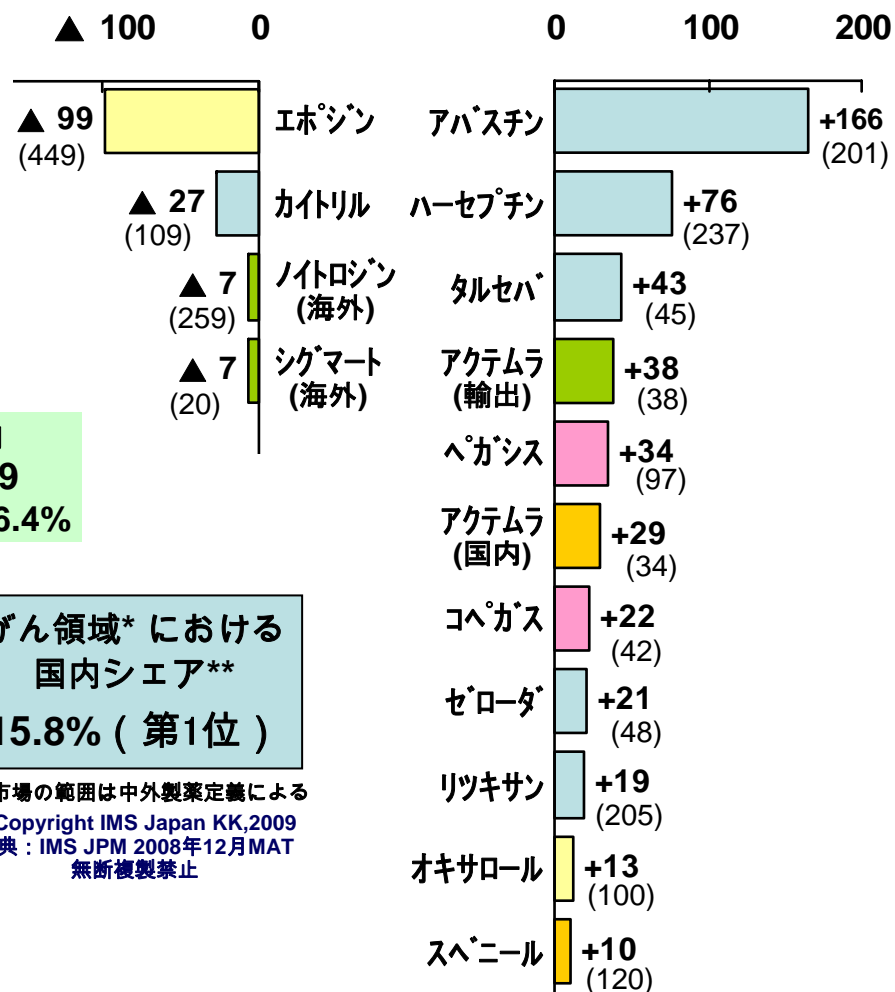
【億円】

製商品売上高
+191, +6.5%



主要製商品 売上増減

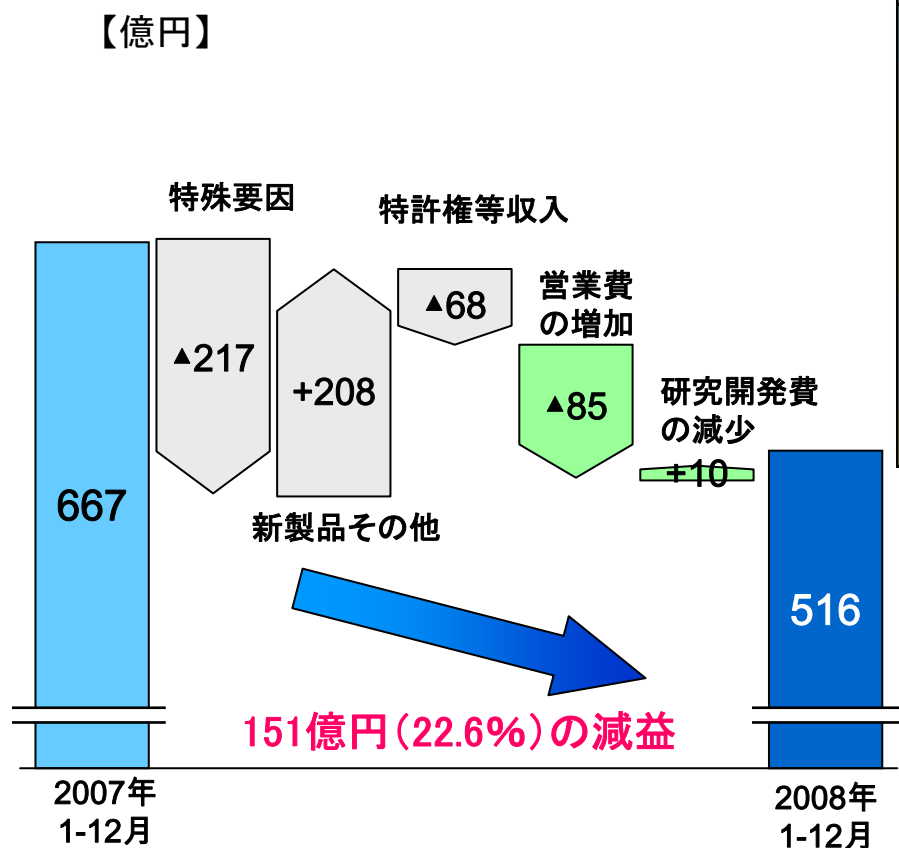
前年同期比、()内:2008年実績



がん領域* における
国内シェア**
15.8% (第1位)

* 市場の範囲は中外製薬定義による
** Copyright IMS Japan KK, 2009
出典: IMS JPM 2008年12月MAT
無断複製禁止

営業利益の増減内訳 1-12月実績



【億円】	2007年 1-12月	2008年 1-12月	増減	
				(%)
売上高	3,448	3,269	▲179	▲5.2
売上原価	1,373	1,270	▲103	▲7.5
売上総利益	2,075	1,999	▲76	▲3.7
うち製商品	1,957	1,948	▲9	▲0.5
うち特許権等収入	119	51	▲68	▲57.1
営業費	866	951	+85	+9.8
研究開発費	542	532	▲10	▲1.8
営業利益	667	516	▲151	▲22.6

- 特殊要因による減少 ▲217億円
タミフルの減少、エポジンの減少
サノフィ・アベンティス品 販売提携終了
- 新製品その他の粗利益の増加 +208億円
- 営業費の増加 ▲85億円
新製品等(アクテムラ、タルセバ等)の市場浸透
市販後調査費用の増加、IT費の増加
- 研究開発費の減少 +10億円
アクテムラ開発費用の減少
共同開発テーマの増加

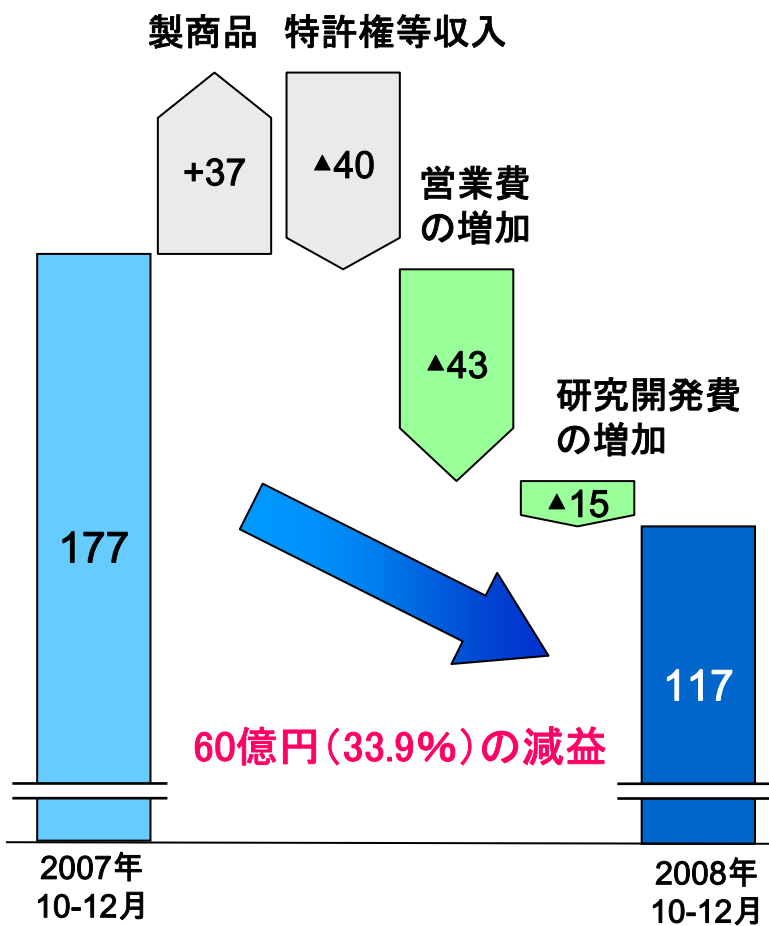
損益の概要 10-12月(第4四半期)実績

【億円】	2007年 10-12月		2008年 10-12月		増減	
		売上 (%)		売上 (%)		(%)
売上高	944		973		+29	+3.1
製商品売上高	901		970		+69	+7.7
タミフル除く	833		903		+70	+8.4
タミフル	68		67		▲1	▲1.5
特許権等収入	43		3		▲40	▲93.0
営業利益	177	18.8	117	12.0	▲60	▲33.9
営業外収益	13		56		+43	+330.8
営業外費用	23		28		+5	+21.7
経常利益	167	17.7	146	15.0	▲21	▲12.6
特別利益	0		0		+0	-
特別損失	4		11		+7	+175.0
当期純利益	98	10.4	91	9.4	▲7	▲7.1

- タミフル除く製商品売上高 +70億円
 - アバスチン +51億円
 - ハーセプチン +31億円
 - エポジン ▲23億円
 - アクテムラ +36億円
- 特許権等収入 ▲40億円
 - マイルストーン収入の減少
- 営業利益 ▲60億円
 - P.7参照
- 営業外収支 +37億円
 - 為替差益
- 特別損益 ▲7億円
 - 事業所再編等

営業利益の増減内訳 10-12月(第4四半期)実績

【億円】



【億円】	2007年 10-12月	2008年 10-12月	増減	
				(%)
売上高	944	973	+29	+3.1
売上原価	363	394	+31	+8.5
売上総利益	580	578	▲2	▲0.3
うち製商品	538	575	+37	+6.9
うち特許権等収入	43	3	▲40	▲93.0
営業費	249	292	+43	+17.3
研究開発費	154	169	+15	+9.7
営業利益	177	117	▲60	▲33.9

- 製商品売上総利益の増加 +37億円
- 営業費の増加 ▲43億円
 - 新製品等の市場浸透
 - IT費の増加
- 研究開発費の増加 ▲15億円
 - 前臨床テーマの増加
 - 減価償却費の増加

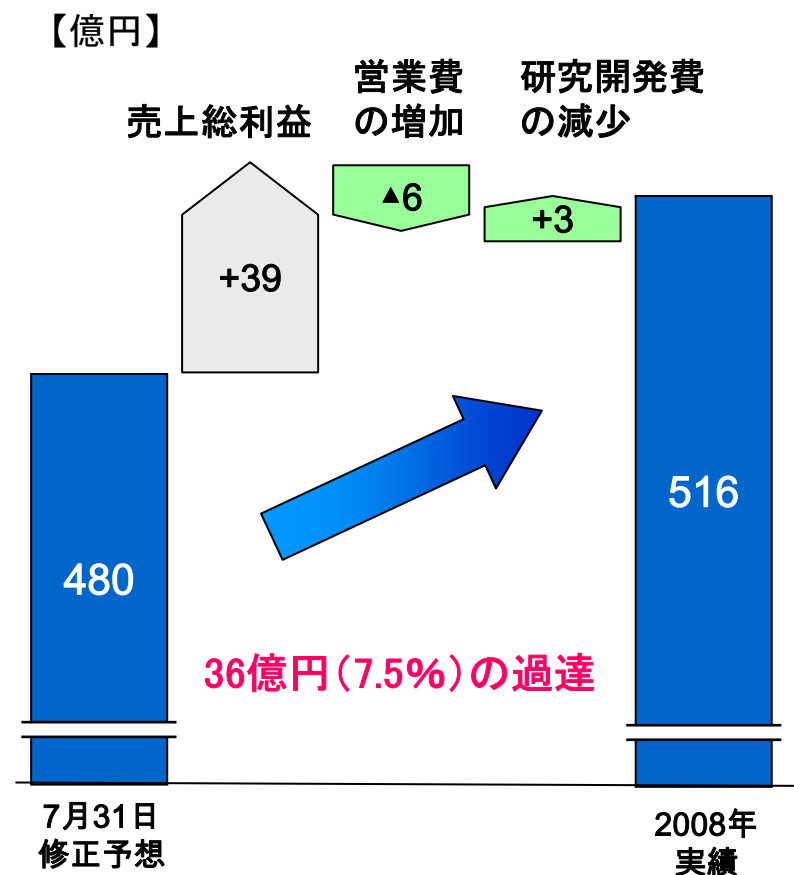
損益の概要 1-12月実績

【億円】	7月31日 修正予想		2008年 1-12月		増減	
		売上 (%)		売上 (%)		(%)
売上高	3,260		3,269		+9	+0.3
タミフル除く	3,210		3,185		▲25	▲0.8
タミフル	50		84		+34	+68.0
営業利益	480	14.7	516	15.8	+36	+7.5
営業外収益	-		99		-	-
営業外費用	-		42		-	-
経常利益	490	15.0	573	17.5	+83	+16.9
特別利益	-		73		-	-
特別損失	-		14		-	-
当期純利益	330	10.1	393	12.0	+63	+19.1

- 売上高 +9億円
 - タミフル +34億円
 - リツキサン +11億円
 - アバスチン +11億円
 - アクテムラ ▲9億円
 - エビスタ ▲7億円
 - ノイトロジン ▲6億円
- 営業利益 +36億円
 - P.9参照
- 営業外収支 為替差益 +47億円

営業利益の増減内訳

1-12月実績



【億円】	7月31日 修正予想	2008年 1-12月	増減	
				(%)
売上高	3,260	3,269	+9	+0.3
売上原価	1,300	1,270	▲30	▲2.3
売上総利益	1,960	1,999	+39	+2.0
営業費	945	951	+6	+0.6
研究開発費	535	532	▲3	▲0.6
営業利益	480	516	+36	+7.5

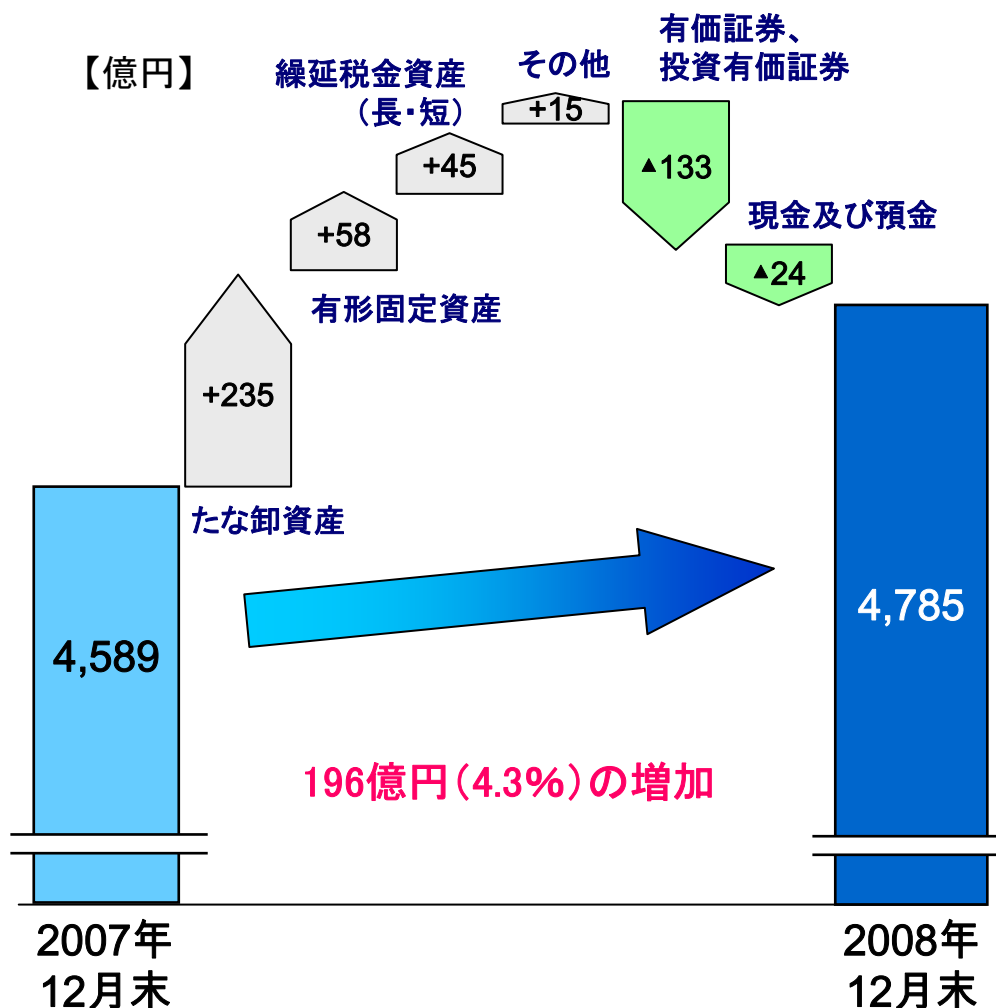
- 売上総利益 +39億円
為替影響
- 営業費の増加 ▲6億円
新製品等の市場浸透
- 研究開発費の減少 +3億円
アクテムラ開発費用の減少

為替変動の影響について

	対修正予想(7/31)比	(ご参考) 対前年比
売上高	▲18億円	▲19億円
	ノイトロジン(海外) ▲10億円 アクテムラ(輸出) ▲7億円	ノイトロジン(海外) ▲17億円
原価・販管費	ロシュからの仕入 +31億円 欧州販社未実現利益 +13億円 欧州販社販管費 +3億円	ロシュからの仕入 +7億円 欧州販社未実現利益 +14億円 欧州販社販管費 +7億円
営業利益	+29億円	+8億円
営業外収支	為替差損益 +61億円 為替予約 ▲15億円	為替差損益 +57億円 為替予約 ▲17億円
経常利益	+74億円	+48億円

影響額はいずれも概算

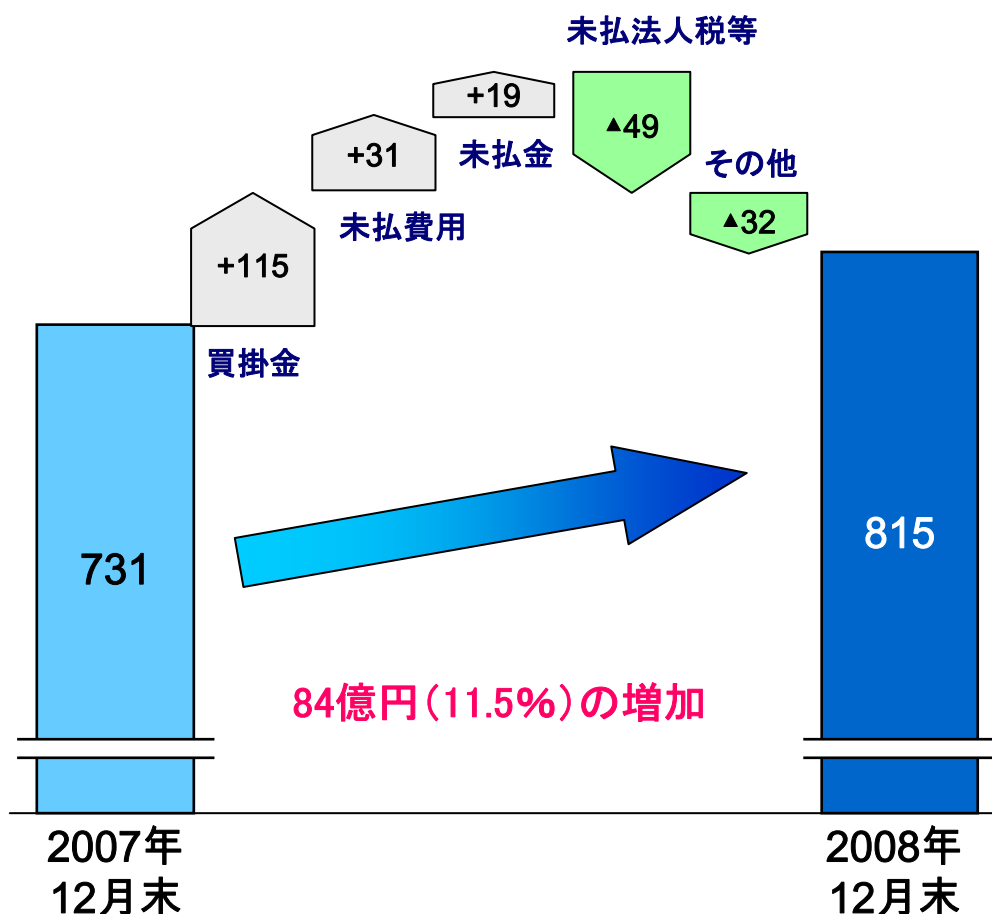
貸借対照表/資産の部



- たな卸資産 +235億円
アクテムラ、タミフル等
サイトチェンジのための備蓄
- 有形固定資産 +58億円
新固形剤棟(藤枝)、第3注射剤棟(宇都宮)
第2製剤治験薬棟、第2生物実験棟(浮間)
- 有価証券 ▲108億円
- 投資有価証券 ▲24億円

貸借対照表/負債の部

【億円】

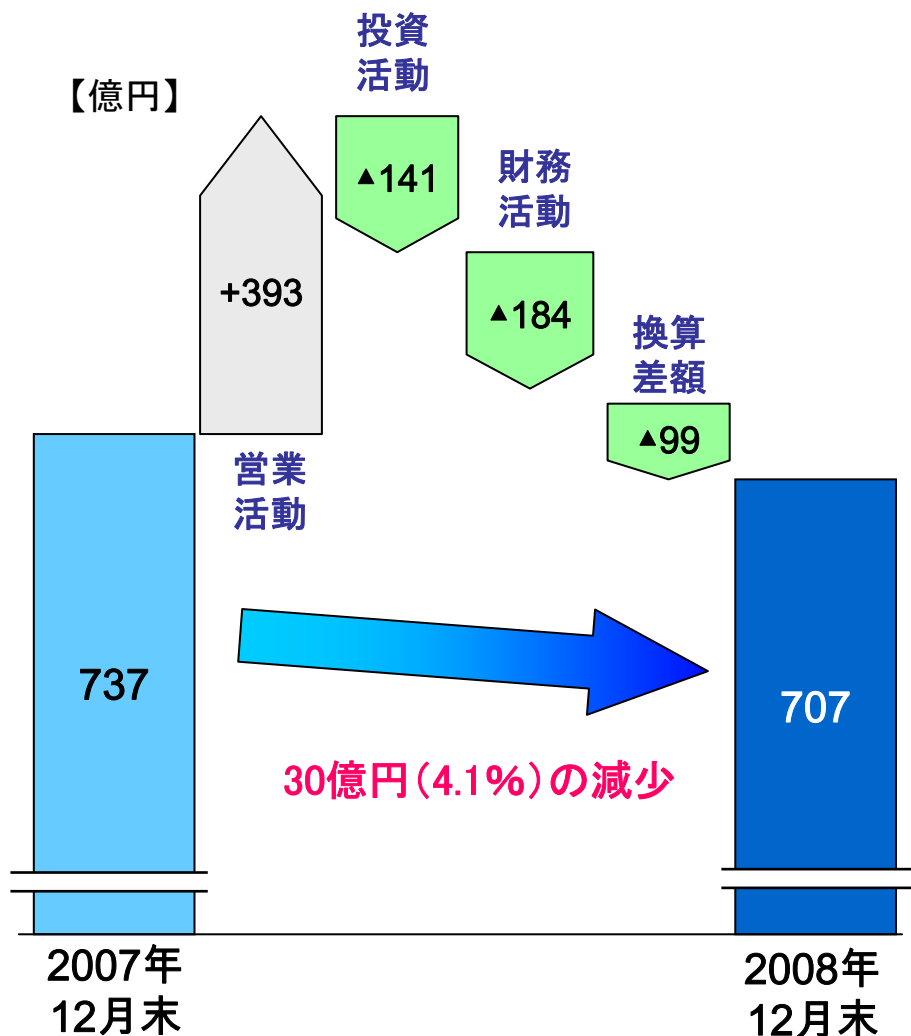


- 買掛金 +115億円
アバスチン、タミフル等
- 未払費用 +31億円
販売費及び一般管理費の増加
- 未払金 +19億円
設備投資の増加
- 未払法人税等 ▲49億円

自己資本比率

2007年末	2008年末	増減
83.5%	82.6%	▲0.9%pts

キャッシュ・フロー 1-12月実績



● 営業活動に伴うキャッシュ・フロー	+393億円
税前純利益	+631億円
減価償却費等	+201億円
運転資本の増加	▲158億円
売掛債権の増加	▲25億円
たな卸資産の増加	▲256億円
仕入債務の増加	+123億円
法人税等の支払	▲301億円
● 投資活動に伴うキャッシュ・フロー	▲141億円
有価証券・投資有価証券の減少	+108億円
固定資産の取得	▲252億円
● 財務活動に伴うキャッシュ・フロー	▲184億円
配当金の支払	▲163億円

利益配分の方針・2008年12月期配当について

■ 方針

安定的な配当を基本とし、戦略的な資金需要や業績見通しを勘案した上で、

従来： インフルエンザ流行の影響等による短期的な業績変動を考慮し、
平均して30%以上の連結配当性向の維持を目標とする

新： 平均して40%前後の連結配当性向を目標とする

■ 2008年12月期の年間配当(予定) 34円： 15円＋19円

2004-2008年 計(予定)： 配当136円 (2005年の特別配当を除く)

EPS 373.92円

平均配当性向36.4%

■ 2009年12月期の年間配当(予想) 34円： 17円＋17円

2005-2009年 計(予想)： 配当152円 (2005年の特別配当を除く)

EPS 385.07円

平均配当性向39.5%

次期業績の予想 2009年1-12月予想

【億円】	2008年1-12月		2009年1-12月		増減	
		売上 (%)		売上 (%)		(%)
売上高	3,269		4,000		+731	+22.4
製商品売上高	3,218		3,903		+685	+21.3
タミフル除く	3,134		3,373		+239	+7.6
タミフル	84		530		+446	+531.0
特許権等収入	51		97		+46	+90.2
売上原価	1,270	38.8	1,760	44.0	+490	+38.6
売上総利益	1,999	61.2	2,240	56.0	+241	+12.1
営業費	951	29.1	1,005	25.1	+54	+5.7
研究開発費	532	16.3	605	15.1	+73	+13.7
営業利益	516	15.8	630	15.8	+114	+22.1
経常利益	573	17.5	635	15.9	+62	+10.8
当期純利益	393	12.0	400	10.0	+7	+1.8
(EPS ※)	72.04円		73.42円		+1.38円	

為替変動の影響度

億円	営業利益
CHF	+6
EUR	▲1

想定より1円円高の場合 (概算)

想定レート (2009年) : 90.00円 / USD、135.00円 / GBP、85.00円 / CHF、125.00円 / EUR

※2008年のEPSは潜在株式調整後の値

製商品売上高の増減内訳 (タミフル除く)

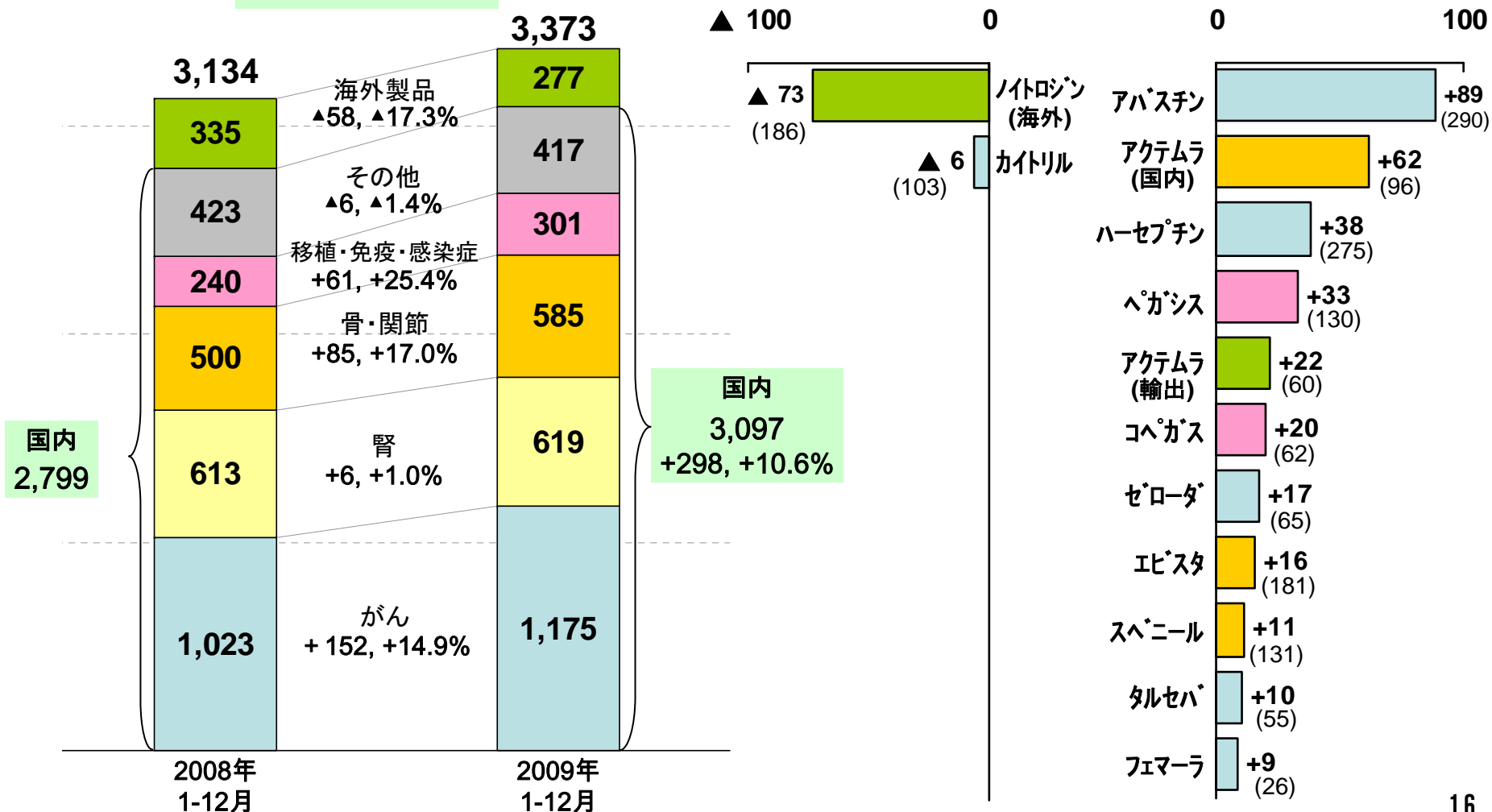
2009年1-12月予想

【億円】

製商品売上高
+239, +7.6%

主要製商品 売上増減

前年同期比、()内:2009年予想



お問い合わせ先：広報IR部

報道関係者の皆様：広報グループ

Tel : 03-3273-0881

e-mail : pr@chugai-pharm.co.jp

担当：山田、島田、荒木

投資家の皆様：IRグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当：内田、前田、清水、時田